

こんにちは！ 宝塚市議会議員 いたう順一です。

先週の月曜日から始まった決算特別委員会が、昨日の総括質疑をもってようやく終わりました。

9月議会から引き続いての委員会でしたので、調査研究も含めてこの2ヶ月は相当忙しい日々が続きました。

ブログにも書かせて頂きましたが、総括質疑の内容をご報告させていただきます。

昨日の総括質疑で私に与えられた30分の中では、

まず、わが市を含め阪神間の7市と、全国40の特例市のうち、わが市をあわせて31の特例市の平成22年度の決算カードの情報を元に、宝塚市の財政構造を比較分析したものを中心に質疑をさせていただきました。

公会計は、現金主義ですが、お金の使われ方のアプローチによって、目的別歳出と性質別歳出に分かれます。

私が調べた中では、目的別歳出は、他の特例市に比べ、民生費（児童・高齢者福祉や生活保護などの経費）と公債費の比重が高く、商工費や教育費にお金が回っていない状況でした。

性質別歳出では、人件費や公債費（公債費は目的別・性質別両方のアプローチに出る項目です）の比重が高く、一般会計から公営企業等へ支出される出資金などの項目が低い状況でした。

その中で、阪神間の公債費の平均は特例市平均よりも高いことから、阪神淡路大震災の影響であることが推測されます。しかし、宝塚市の公債費は、阪神間の平均値より下回り、実質公債費比率や、将来負担率を他の特例市と比較しても、数値的には悪くないので、わが市では人件費の削減に取り組む必要があります。

更に平成22年度の宝塚市の経常収支比率ですが、平成22年度は、地方交付税と臨時財政対策債の大幅増のおかげで随分改善され95.8%でした。しかし、他の特例市に比べまだまだ大きな差があり、財政が硬直化していることはわかりませんので、更に行財政改革を進めていかねばなりません。

経常収支比率に締める人件費の割合は、他の特例市に比べて3.7ポイント、公債費の割合は4.1ポイント

高く、人件費と公債費が、経常収支比率を悪くしている原因であることが分かります。

このような財政分析の中から、人件費を16億2千万円以上削減をすれば、今回調べた他の特例市の平均に近づくことを申し上げました。

更に、本年は凍結していた職員手当を解除したのですから、何もしなければ本年は他市に比べ更に人件費率が高くなるであろうことも申し上げましたが、当局からは、いつものように定数管理を行って、人件費削減に努めます。との答えでした。

次に、公金徴収の一元化について述べさせて頂きました。

徴収率についても、決算カードに載っていますので、比較検討させて頂きました。

現年分の徴収率は、阪神間では98.3%特例市では98.1%、我が市の徴収率は98.0%ですから、若干低いもののあまり遜色はありません。

但し、滞納分が極度に悪い状況です。阪神間は19.5%、特例市では19.1%で、わが市は16.5%ですので、一度滞納になってしまった分の追いかかけ方が、他の自治体に比べて、足りていないことがわかります。

税に対しても、これなので、他の公金に対しては、徴収に対して専門外の職員が取り組むので、更に難しいであろう事が容易に想像できます。

勿論、どうしても払えない人と、払えるのに払おうとしない人は明確に区分すべきですが、様々な部門が入れ替わり立ち代り、徴収に行っても、返って市民に不信を抱かせることも予想されますので、公金すべての徴収の一元化をはかり、技術的、法的にもしっかりした態勢を整え、現在ほとんどの市民の皆様は、厳しい生活の中から税や公金を納めていただいておりますので、公平性や正義や法が歪められないよう、公金徴収の一元化によって、専門チームをつくるといった対策を取るべきであることを、訴えさせて頂きました。

次に、まちづくり施策について、小学校区を単位とするまちづくり協議会の仕組みは、全国に先駆けて行われた宝塚市が誇りとする仕組みであることを申し上げ、地域づくりの担い手の裾野の拡大に努め、市民自治、地域主権を担える態勢を整えるべきことを申し上げると共に、様々な行政部門がばらばらに、地域の同じ人に集中してお願いしている行政の縦割りについて、もう少し行政として整理するよう申し上げました。

そして、縦割りの問題については、昨今の虐待やモンスターペアレンツの問題の防止の為にも、また、幼稚園から私学へ行ってしまう人に対し、宝塚市と接触する機会をうまく活用するためにも、母子手帳

配布時や定期検診時を活用して、教育委員会と市長部局が連携をして、家庭の教育力や地域の教育力の充実に努めるべきであると申し上げました。

更に、まだまだ働きたい或いは働ける高齢者の雇用問題にしても、生活保護等の給付をすることで行政の責任を果たしたと考えず、まだまだお元気で専門知識を有し、機会があれば世の中の為に働きたい人への、機会の充実を全庁挙げて取り組むべきで、財政面に対しても、給付を行うより収入を得ていただき、税等を納付していただける態勢を整える方が助かるといったことを申し上げました。

最後に、今回の決算特別委員会に参加して、宝塚市の財政状況や524の様々な行政の事業を深く知る上で、非常に役立ちました。先週一週間、委員と行政の間で繰り広げた議論を、事業仕分けの場で行うことで、市民の皆様や専門家の皆様のご意見を取り入れ、宝塚市の発展に尽くすべきことを申し上げ、総括質疑としました。

■ 9月議会一般質問の放送のご案内

10月5日に行いました私の一般質問の様子が、FM宝塚（83.5MHz）で放送されます。放送日時は、11月17日（木）13：00～ の予定です。よろしければ是非お聴きください。

■ 宝塚南口通行止めのお知らせ

宝塚市内の工事の情報が入っておりますので、ご案内させていただきます。宝塚南口駅付近の大型マンション建設の影響で、これまでサンビオラ2番館と3番館をつないでおりました、連絡通路デッキの撤去工事が実施されるようです。この影響でデッキの下の道路（100円ローソンの前の道）が10日間も通行止めになるようです。迂回路もありますが、かなりの混雑が予想されますので、ご注意ください。

通行止め期間は、11月9日（水）～11月18日（金）です。

■ 議会報告会のご案内

9月議会の報告会が、

11月5日（土）10：00～12：00 男女共同参画センター

11月9日（水）19：00～20：45 西公民館

で開催されますので、是非お越し下さい。この報告会は議会改革の一環で本年度から実施されております。私は、11月5日に出席し記録係りをする予定です。

■ 宝塚音楽回廊（<http://www.zukaon.com>）

11月12日（土）、今年で8回目となる宝塚音楽回廊が開催されます。私も第2回から実行委員として積

極的に関わらせて頂いておりますが、今年は震災支援の為に、東北開場も設け、音楽で被災地の方々とも繋がれば良いなと思っております。ご協賛を頂いた皆様に心より感謝申し上げます。なお、チケットは、前売り大人 2000 円で販売しています。詳しくは <http://www.zukaon.com/ticket.html> まで

■六甲全山縦走大会歓迎！おもてなしイベント ホット宝塚

11月13日（日）・23日（水）と、須磨を出発し、各日約2000名ずつ、宝塚がゴールとなる全長56kmを走破する六甲全山縦走大会が開催されますが、ゴール地点の宝塚で、宝塚市民のホスピタリティを発揮すべく、完走者を甘酒や足湯でお出迎えするイベントを「ホット宝塚」と題し5回目となる今年も開催致します。この事業も第1回から関わらせて頂いております。

※その他、この秋、様々な分野で多くのイベントが予定されておりますが、設営される皆様におかれましては、事業のご成功を心よりお祈り申し上げます。

■後援会ご入会のお願い

「いとう順一とつくる会」という後援会への会員募集をさせていただいております。本会は「いとう順一」を囲み、社会的、文化的、政治的活動を支援することで、新しいまちづくりを推進することを目標とし、講演会、座談会、研修会、親睦会などを開催致します。年会費は5,000円です。

いとう順一の政治姿勢・趣旨にご賛同頂ける方は、まずは電話・FAX・メール等でご一報下さい。ご入会いただいております皆様には心より感謝申し上げます。

■このメールマガジンは一ヶ月に2回程度、日頃応援していただいている皆様や、名刺交換をさせていただいた方に、発行させていただいております。

宝塚市の情報・いとう順一の考え方などを盛り込んで参りたいと考えております。

是非、ご一読賜り、ご意見など頂戴できれば幸いに存じます。また、市政に対するご意見等もご遠慮なくメール等頂戴できれば幸いです。

なお、メールマガジン停止のご希望や、ご意見や、失礼ながら名前が間違っている等々、下記までお願い申し上げます。

⇒ tukuru@jito.jp または jito11011@live.jp

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

本気の力！市政を変える！伊藤順一

〒665-0033 宝塚市伊子志 2-17-8-4F（自宅兼事務所）

TEL&FAX 0797-72-2130

ホームページ <http://jito.jp>

（ブログを中心にしたHPです。約3日から4日に一度更新をしています。是非こちらも宜しくお願い

します。)

携帯メール jito11011@docomo.ne.jp PC jito11011@live.jp

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★